

6月定例議会

行政報告

(1)

平成24年6月定例議会は、6月19日に開会、6月28日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また21日、22日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、28日の最終日に採決が行われました。

6月定例議会の行政報告の概要をお知らせします。

総務部関係

■総務課

3月31日から4月1日にかけて、融雪により小阿仁川の水位が上昇しました。住家への被害が想定される事態となったことから、31日午前10時45分、鎌沢、三木田、摩当の3地区176世帯に避難勧告を発令し、自治会長への電話連絡、広報無線、エリアメールで避難を呼びかけました。同日午後9時30分、避難勧告を解除しましたが、農地冠水61ヘクタール、揚水機4箇所などの被害が発生しています。

4月3日から4日にかけて発生した低気圧による暴風・大雨被害は、暴風での転倒による重傷者1人、住家一部損傷18棟、非住家被害7棟、農業用パイプハウス等114棟の被害が発生しています。また、倒木などにより国道2箇所が通行止めになっています。

人権擁護については、6月1日の「特設人権相談所の設置」や6月3日の餅つこまつり会場での啓発活動が行われました。

また、6月に入り、市内11校の小中学校では「人権の花運動」が実施されるなど、人権擁護委員の活動によって、人権尊重思想の普及が図られています。

なつたほか、綴子地区など924世帯が一時停電しましたが、4日午後11時52分までに全世帯復旧しました。

4月17日、富山県小矢部市と「北秋田市・小矢部市災害時相互援助協定」を締結しました。

東日本大震災の被災地である岩手県山田町へ、人的支援として職員長期派遣を行います。期間は平成24年6月1日から平成24年11月30日までの6カ月間で固定資産税業務を担当しますが、3ヶ月毎に職員を1人派遣します。

6月7日に平成24年度秋田内陸地域公共交通連携協議会が阿仁山村開発センターで開催され、内陸線の利活用の促進や利便性の向上を図りながら《走れ内陸線、いつまでも！みんな目指せプラス6万人》キャンペーンなどを盛り込んだ平成24年度の事業計画が決定されました。

駅前前の活性化を図り、内陸線の利活用促進につなげる目的の「のりものまつり」が5月19日・20日の2日間開催され、多くの来場者で内陸線や阿仁合駅広場は賑わいました。

■総合政策課

北秋田地域振興局と市の意見交換会を5月28日に開催し、観光振興や農業振興、道路整備など、行政課題の解決に向けた意見の交換を行いました。

■内陸線再生支援室

6月7日に平成24年度秋田内陸地域公共交通連携協議会が阿仁山村開発センターで開催され、内陸線の利活用の促進や利便性の向上を図りながら《走れ内陸線、いつまでも！みんな目指せプラス6万人》キャンペーンなどを盛り込んだ平成24年度の事業計画が決定されました。

財務部関係

■財政課

平成24年2月11日から5月29日までの工事等発注状況（500万円以上）は56件、契約額は8億6473万6千円です。

■税務課

平成24年度の当初課税状況は、軽自動車税は課税台数1万6082台、課税額が7385万1千円です。また、固定資産税は納税義務者数が1万6722人、課税額は15億3229万6千円です。

市民生活部関係

■生活課

春のクリーンアップは、4月15日早朝、市内全域（阿仁地区は4月29日）で実施し、約6700人の市民が参加しました。

東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理については、4月26日、県内で最初に受け入れを開始した大仙美郷クリーンセンターを視察しました。



▲5月31日開かれた、市民提案型まちづくり事業の第1回審査会

焼却施設や最終処分場の状況のほか、被災地の視察や住民説明、放射線測定結果の公表などについて説明を受けました。

平成24年度北秋田市廃棄物不法投棄監視委員会を5月11日に開催し、監視員24人に委嘱状交付しています。狂犬病予防は、5月31日から6月28日まで市内190箇所を巡回し、予防注射を行っています。

クリーンリサイクルセンターへの平成23年度ごみ搬入量は、1万2182tで、前年度比21tの減少です。

市民と行政が一緒になって地域課題を解決し市民協働のまちづくりを進めるため、「市民提案型まちづくり事業」の募集を行っています。多くの市民団体の自発的な活動を期待しています。

■市民課

平成24年4月末現在の住民登録者数は、3万6192人で、内訳は男1万6960人、女1万9232人、世帯数は1万4439世帯です。

昨年を引き続き、今年も3月下旬から4月上旬にかけて市民課窓口を土日6日間開設しました。利用状況は、住民票関係21件、戸籍関係13件、印鑑証明関係16件、届出関係24件、市税関係4件、その他15件の計93件でした。

国民健康保険は、平成24年4月1日現在の加入世帯数は5994世帯です。被保険者数は、9625人で、その内、前期高齢者は4087人です。後期高齢者医療制度の平成24年4月1日現在の被保険者数は、7845人で、その内、若年障害者認定数は230人です。

健康福祉部関係

■福祉課

障害者自立支援法による自立支援給付の利用者は、4月1日現在で介護給付が326人、訓練等給付が12人です。

自立支援医療の更生医療が57人、育成医療が7人、精神通院医療が535人です。相談支援事業は、平成23年度の年間延べ利用者数が4275人です。

今年度から実施している人工透析通院費助成事業は、33人が申請しています。

4月に入園した公立7保育園と私立4保育園の園児は859人です。

市の単独事業「ひとり親家庭就学祝金」は、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は65人へ交付しました。

■高齢福祉課

高齢者在宅福祉サービスの平成23年度の主な実績について、高齢者障害者等外出支援サービスは、利用者数が472人で、延べ利用回数は4605回です。食の自立支援サービスは、利用登録者数が238人で、延べ利用食数は3万2021食を提供しています。また、家族介護慰労金の支給は、登録人員が310人で、在宅での介護者に1926万円の慰労金を交付しています。福祉の雪事業は、利用登録1363世帯、延べ利用回数1万1355回、扶助費は2876万8千円と過去最高の支払い額です。

■健康推進課

地域包括支援センターでの相談は延べ2586件で、内包括的支援事業として受け付けた総合相談は546件です。

成人検診事業は、集団検診方式・個別医療機関方式・ドック方式の3



▲鷹巣南小学校で行われた人権の花運動の植栽



▲5月23日、四季美湖周辺で行われた「くまげらウォーク」

方式で実施し、並行して各種がん検診も実施しています。

介護予防事業は、栄養教室、口腔機能向上教室、パワーリハビリ教室、運動教室の各事業を実施しています。

市民健康づくり事業の「環のウォーキング」は、4地区で開催する予定で、第1回目の「くまげらウォーク」には91人が参加しました。

■医療推進課

市民病院の常勤医師は、4月より1人増員となり19人体制（うち歯科医師2人）です。

市民病院の利便性向上については、5月25日、北秋田市民病院運営連絡協議会を開催し、市民から寄せられたご意見・ご要望に対する市民病院の対応、健全経営に向けての厚生連の取り組み、誘致薬局の日程が報告されました。